

平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	水環境保全活動普及促進事業		担当部局庁	水・大気環境局		作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度～		担当課室	水環境課		水環境課長 宮崎正信				
会計区分	一般会計		政策・施策名	3. 大気・水・土壌環境等の保全 3-3 水環境の保全 (海洋環境の保全を含む)						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水質汚濁防止法第十四条の五		関係する計画、通知等							
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日常生活での水質汚濁防止などの水環境保全活動を促進するとともに、川や海、湖などでの環境保全活動や生物調査、遊びなど、直接水環境とふれあうことを通じて水環境への関心を喚起し、水辺の水環境問題や自然保護など、環境保全に対する理解と活動の推進を図る。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	こどもの水生生物に注目した水環境保全活動の報告を募集し、優れた取組を表彰し、子どもたちが中心となった環境保全活動の推進と正しい理解の普及を図る。また生活排水対策資材の活用方法の検討、モデル事業の実施及び効果検証を行い、持続的な普及方策等について整理する。									
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他									
予算額・執行額 (単位: 百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	28	10	5	5	5			
		補正予算	-	-	-	-				
		繰越し等	-	-	-	-				
	計		28	10	5	5	5			
	執行額		16	9	5					
執行率 (%)		57.1%	90.0%	100.0%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	こども等の国民の意識啓発と取組に係る事業のため定量的な成果目標の設定が困難。			成果実績	-	-	-	-	-	-
				達成度	%	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度	25年度活動見込
	こどもホタレンジャー活動に参加したこどもの数(活動レポート募集事業への参加者数のみ)			活動実績 (当初見込み)	人	1,724	1,205 (2,000)	1,227 (1,200)		— (1,200)
単位当たりコスト	4,172 (円/人)			算出根拠	単位当たりコスト＝平成24年度こどもホタレンジャー事業予算額(5,119千円)／参加したこどもの数(1227人)					
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	環境保全調査費		5	5	-					
計		5	5							

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国 必 費 投 入 の 性 質	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	第4次環境基本計画においても言及されているとおり、人と水とのふれあいが希薄になっており、国民の水環境への関心を高めていくため、国が率先して多様な主体の参画を促進するための普及啓発を進めていく必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			-		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	最低価格落札方式を活用し、競争性の確保・コストの削減に努めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-		
事 業 性 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			-	これまでの事業の実績や活動の事例を整理し、HP等を通じて照会する等、成果物を十分活用している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	子どもホタルエンジャー事業については、健全な水環境の象徴としてホタルに関する活動を対象としてきたが、他の水生生物も対象とすることや、指導者向けの研修の実施など、より内容の多角化が図られてきてきているところであり、さらに、事業実施における情報発信の工夫等を行い、継続的に事業効果の拡大を図っていく必要がある。					
外部有識者の所見						
予算規模が500万円しかないのであれば、事業を各地方自治体の独自判断で実施してもらうことも検討課題ではないのか？						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	現在の予算規模で続けるのかを含め、より効果的な事業実施方法について検討すべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
執 行 等 改 善	募集方法や結果について情報発信の工夫を行い事業効果の拡大を図る。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	076	平成23年	069	平成24年	068

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

環境省
5百万円
事業の企画・立案



【最低価格入札】
A. 株式会社ヒップ
5百万円
こどもホタレンジャー事業の実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.株式会社ヒップ			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費		2			
旅費	審査委員・受賞者	1			
印刷製本費	募集チラシ、募集要項、研修案内等	1			
その他	諸謝金、会場借料、通信運搬費等	1			
計		5	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ヒップ	こどもホタレンジャー事業の実施	5	5	-